



第 239 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：マウス遺伝学の実際

演者：吉木 淳 先生

理化学研究所 バイオリソースセンター

リソース基盤開発部・実験動物開発室 室長

筑波大学客員教授

日時：2007年1月26日（金） 16:45～18:30

会場：医学学群棟 4A411

要旨：

吉木先生は、理化学研究所 バイオリソースセンター リソース基盤開発部・実験動物開発室の室長で、マウスリソースの開発を行っています。本セミナーでは、マウスミュータントの遺伝育種の基本、系統の種類、系統命名法、世界のマウスリソースの保存と供給体制について最新情報を紹介します。尚本セミナーは、平成18年度の「魅力ある大学院教育イニシアチブ」プログラムで開催される「ほ乳動物遺伝学コース」の一部として開催されます。

参考文献

1. Yoshiki A, Moriwaki K. Mouse phenome research: implications of genetic background. *ILAR J.* 2006;47(2):94-102. Review.
2. Yonezawa S, Yoshizaki N, Kageyama T, Takahashi T, Sano M, Tokita Y, Masaki S, Inaguma Y, Hanai A, Sakurai N, Yoshiki A, Kusakabe M, Moriyama A, Nakayama A. Fates of Cdh23/CDH23 with mutations affecting the cytoplasmic region. *Hum Mutat.* 2006 Jan;27(1):88-97.
3. Toyo-Oka K, Sasaki S, Yano Y, Mori D, Kobayashi T, Toyoshima YY, Tokuoka SM, Ishii S, Shimizu T, Muramatsu M, Hiraiwa N, Yoshiki A, Wynshaw-Boris A, Hirotsune S. Recruitment of katanin p60 by phosphorylated NDEL1, an LIS1 interacting protein, is essential for mitotic cell division and neuronal migration. *Hum Mol Genet.* 2005 Nov 1;14(21):3113-28.

連絡先：筑波大学基礎医学系 高橋 智 TEL: 853-7516 Email satoruta@md.tsukuba.ac.jp

【筑波分子医学協会、筑波大学大学院 医科学研究科・人間総合科学研究科 主催】

セミナー担当 筑波大学基礎医学系 横関健昭